

# 議事要旨

## 1. 質疑応答

### (1) キトラ古墳の保存処置の状況と今後の壁画の保存・公開について

- ・ 「古墳内部の損傷等が著しいため、キトラ古墳壁画の全面剥取りが平成 16 年 9 月 に決定し、現在、剥取り作業と保存処置が行われており、今後の保存展示方法等については文化庁の検討会議で議論が行われているところである」との報告が文化庁よりあった。これに対し、キトラ古墳の周辺において壁画を保存管理することでキトラ古墳周辺地区の魅力がさらに高まるため、キトラ古墳周辺地区内での保存および公開を検討していただき、展示手法等の協議を公園側と進めてほしいとの意見があった。

### (2) パブリックコメントの実施結果について

- ・ 意見募集期間中に全国から 73 通の回答が寄せられた。
- ・ 区域変更への評価では「大変良い」、「良い」の合計が回答の 50% 以上占めている。
- ・ キトラ古墳周辺地区の導入施設に関するご意見については、檜隈寺跡周辺部を追加したことによる往時の大陸との交流を体験できる施設や駐車場などの便益施設への要望が高くなっている。
- ・ 基本計画の変更案に関するご意見については、現在の自然や風景を維持すべきという意見が最も多く、史跡周辺の環境保全を第一義に考え、現在ある地形や環境をできる限り残しながら園地整備を進めていくことが回答として示された。

## 2. 討議及び提案

### (1) キトラ古墳周辺地区周辺部の環境の保全について

#### 1) 平田阿部山線の沿道景観の保全

- ・ 平田阿部山線沿いの民有地で景観に影響を及ぼす沿道開発がおこなわれる可能性もあるため、今後、関係機関と協力しながら景観保全のための方策を検討するべき。
- ・ 今回の変更案で削除された部分は景観的に非常に重要な部分であるため、地元の方々と協力しながら周辺環境を保全していかなければならない。

#### 2) 隣接する集落への配慮

- ・ 隣接する集落への車輛の流入など、周辺部の動線や景観への影響を十分に配慮していかなければならない。

### (2) 飛鳥周遊歩道との連携について

#### 1) 飛鳥周遊歩道からキトラ古墳まで周遊客を導く園内動線の整備

- ・ 飛鳥周遊歩道がキトラ古墳周辺地区の北部を通過しているが、飛鳥周遊歩道のルート変更も含めて今後検討すべき。特に檜隈寺跡の史跡区域内を通過する部分については、キトラ古墳周辺地区の連絡動線となることから留意する。
- ・ キトラ古墳と檜隈寺跡との距離が離れているため、来園者が快適に移動できる歩行空間の演出が必要となる。
- ・ 渡来人との文化交流によって生み出されたキトラ古墳や高松塚古墳へのイントロダクションとなる檜隈寺跡周辺部から、物語性を活かした周遊ルートを整備していくべき。

## 2) 飛鳥地方でのキトラ古墳周辺地区の役割の明確化

- ・ 飛鳥に詳しくない周遊客にもキトラ古墳周辺地区に興味を持っていただけるよう、もっと特徴を明確に示すべき。
- ・ 最寄り駅となる近鉄壺阪山駅から飛鳥周遊歩道へ接続するルートの整備を今後検討することが望ましい。

## 3) 国営飛鳥歴史公園 5 地区を結ぶ新たな移動手段の確保

- ・ 飛鳥周遊歩道による歩行者動線だけでなく、5 地区を結ぶバスの運行など新たな移動手段を考えてほしい。

## (3) 文化財発掘調査にあわせた柔軟な対応について

### 1) 今後の文化財発掘調査との柔軟な対応

- ・ 計画地となっている箇所は新たな遺構が発見される可能性が高いことから、今後の施設整備を検討する上で、柔軟な対応が可能のように事業を進めるべき。
- ・ 文化財発掘調査の進捗に合わせて、整備順序の決定や部分供用の可能性も検討してほしい。

### 2) 檜隈寺跡の史跡区域に隣接する箇所での協調整備

- ・ 檜隈寺の発掘調査が進んでいないため寺域が不明であるが、関連施設があったと思われることから史跡区域周辺部の施設整備には史跡との関係に留意する。
- ・ 檜隈寺跡の史跡区域内の整備と協調した施設整備を図る必要がある。